

1 オンラインによる災害アーカイブワークショップ

教育関係者らでつくる一般社団法人三陸&東海防災フォーラム伝(仙台市)の主催によるオンラインでの災害アーカイブワークショップに参加し、東日本大震災の被災体験などをもとに防災や減災について討論した。これは、高校生同士のワークショップで、亘理高校1~3年生9人と岡山県内の高校生9人が参加した。自校の生徒は同校教室で5班に分かれ、タブレットの画面越しに10年前の状況や、視察した山元町の震災遺構中浜小学校の感想を伝えた。ある生徒は、震災時に相馬市内の幼稚園年長で、同市沿岸に住む祖母を津波で失い、家族で祖母を捜しに行ったことを話し、それが防災・減災を考える契機になったと話していた。

2 栽培した鉢植えを生かした交通安全運動「フラワー作戦」

今年度、本県の「安全・安心なまちづくり」につながる活動を行う団体や個人に対して表彰する「住みよしみやぎづくり」という功績者表彰を団体部門で受けた活動である。この活動は、普通科園芸コースの生徒が実習で育てた花苗を、ドライバーや通行人に手渡ししながら交通安全を呼びかけるもので、1983(昭和58)年から亘理警察署とともに、毎年交通安全運動期間中の春と秋の年2回実施している。今年度は、町内の県道交差点付近で実施し、6月と10月の2回、生徒会執行部、交通安全委員、奉仕委員等約80名が参加した。6月にはサルビアとマリーゴールド、9月には観賞用トウガラシをドライバーと歩行者に手渡した。事故のない安全な町づくりに協力することで地域へ貢献する態度を養うとともに、地域住民とのふれあい活動を大切にしている行事である。



3 資格・検定試験への挑戦～全国レベルの検定合格を果たす～

学びの努力が形として残ることで自信になることや、知識や技能、経験を証明できるものとして、資格・検定取得に取り組んでいる。今年度は、家政科の生徒が全国高等学校家庭科技術検定の全4部門(「和服」「洋服」「食物調理」「保育」)で最高位の1級に合格し「4冠」の快挙を達成した。4冠達成は県内ただ1人で、自校では2年連続となった。4冠を達成した生徒は、高校3年間で4級から1級まで計26の検定に合格した。

4 環境美化活動「トイレぴかぴか運動」について

環境美化に貢献する態度を育成するための奉仕活動として、保健衛生委員や家庭クラブ、有志の生徒が5月と10月に行った。快適に過ごすことができるよう、校内のトイレを清掃し、環境美化に努めた。参加したある生徒は、「みんなのために活動することは気分がいい。実際にやってみると想像以上に汚れが目立っていた。みんなきれいに使ってほしい。」と話していた。この活動は、奉仕の精神を育てることに加え、学校が落ち着いた雰囲気となることにも貢献している。



5 山元支援学校との交流学习

10月6日(水)・7日(木)、自校の農場において、普通科園芸コースの生徒と山元支援学校の生徒が交流学习の一つとして、サツマイモ掘りと花苗の鉢上げ作業を行った。両校の生徒は緊張しながらも思い思いに楽しみながら学習していた。この学習は、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に個性と人格を尊重し合う共生社会の実現を図ることを目的として行っているものである。

